

# 株式会社マミーズファミリー

お母さんを日本一元気にして、子どもたちを日本一可愛がる

## おもてなし経営のポイント

- ❖ 安心して子どもを預けられる、きめ細やかな「パーソナル保育」
- ❖ 若い保育士を補助する IT システム



### 経営理念と企業文化

株式会社マミーズファミリーは、保育施設の運営や、ベビーシッターの養成・派遣などを行っている。代表取締役の増田かおり氏はかつて子育てをしていた際、「自分が病気になり、病院に行きたかったが子どもを預ける先がなく、途方に暮れた」という経験があった。まだ一時保育を受け入れる保育所もないころだ。預かり保育をしている街の託児所をたずねたが、施設の状況が分からない中では、不安で利用できなかった。友人が子どもを預かってくれたことでようやく病院へ行き、買い物もすることができた。「自分のように困っているお母さんは世の中にたくさんいるはず」と思い、託児サークルを設立。それがマミーズファミリーの始まりだった。

マミーズファミリーの保育は「基本的信頼感」、「自己肯定感」の確立を大切にしている。また、幼児期後半に向けては「自立」と「自律」がテーマだ。

乳幼児期で大切なのは「ほくって生まれてきてよかったんだ」、「私って大事にされているんだ」と実感すること。そのため、保護者が迎えに来たときは「○○ちゃん、お母さんが迎えに来たよー」と大声で叫ぶようなことはしない。きちんと子どものそばに行き話しかける。このことによって、「自分は大事にされている」という実感を持てるようにしている。

「みんなが同じタイミングで同じことをする」という集団保育が多い中、マミーズファミリーの保育施設では、それぞれの子どもに合わせた保育をしている。登園時間が異なれば、子どもが腹をすかせる時間も、昼寝の時間も異なるため、それぞれに合わせて保育をしている。

このきめ細やかな保育をサポートしているのが、IT システムである。法律上の最低人数に加え、個別フォローが必要な子どもに対応する人数を別途、上乘せした形で、何時に何人の保育

士が必要なのかを算出する「人材適正配置システム」を採用。現場の保育士による施設管理をサポートしている。

「保育所の子はかわいそうといわれますが、私は決してそうは思いません」と増田氏。両親と離れていても、保育士が一人ひとりの子どもを大切にすることで、子どもは精神的に豊かな人間形成をしていくことができるのである。

### 講演者 紹介



株式会社  
マミーズファミリー  
代表取締役

増田 かおり氏

松山市東雲短期大学保育科卒業後、3年間保育所に勤務。その後、自らの育児ノイローゼ体験をもとに、託児サークル「マミーズファミリー」を設立。ドイツ・スウェーデンの保育研修にて感覚教育や発達心理学を学び、保育士の養成や講演を行う。「日本一ハッピーな保育を目指そう!」と、保育者・子ども・母親・父親の目線で幸せを実感できる保育施設を全国で28ヶ所運営。総顧客数は、2万人を超える。次世代育成支援法協会理事長。ハイサービズ300選クラブ副会長。2006年、第6回 日本商工会議所女性起業家大賞奨励賞受賞。著書『がんばりすぎない子育て』（PHP研究所）、『日本一ハッピーな保育所を目指して』（ラゲーン出版）。現在、法政大学大学院 政策創造研究科 在学中。

### 会社概要

- ・法人名: 株式会社マミーズファミリー
- ・代表者: 増田 かおり 代表取締役
- ・所在地: 愛媛県松山市萱町2-4-5
- ・設立年月: 1995年5月設立
- ・ホームページ: <http://www.mammys-f.jp/>

- ・事業内容: 保育施設の運営・受託運営、ベビーシッターの養成・派遣、保育士などの人材派遣、一般労働者派遣、次世代育成支援コンサルティング業務
- ・社員数: 200名

# 万協製薬株式会社

経営品質を高める取り組みと地域・社会への貢献

## おもてなし経営のポイント

- ❖ さまざまな仕組み、仕掛けによる高い社員満足度
- ❖ 社会貢献への高い意識と地域活性化への貢献



### 経営理念と企業文化

万協製薬株式会社は、三重県多気郡多気町に本社および工場を持つ、外用薬専門の受託メーカーである。1960年に外用薬の製造工場として兵庫県神戸市で設立したが、95年の阪神・淡路大震災によって神戸工場は全壊。翌96年に現在地に本社と工場を移転した。その際、スキンケア製品の製造に特化したラインづくりを行なったため、あらゆる形態の商品製造を受託することが可能となった。代表取締役社長の松浦信男氏は、2003年から日本経営品質賞に挑戦し始め、さまざまな取り組みの末、09年度日本経営品質賞(中小規模部門)を受賞した。

万協製薬では、企業理念を「バンキョー・クレド」と呼んでいる。バンキョー・クレドは上位の階層(社会)から下位の階層(個人)への流れでつくられ、会社の理念と自分の行動の

関係性が理解しやすくなっている。各作業場、通路、食堂に掲示したり、毎日の朝礼で唱和するだけでなく、毎年行なわれる社員アンケートによって、その浸透度がはかられている。11年度のアンケート結果は93.4%。非常に高い浸透度となっている。

同社では、お互いの業務内容を理解し合うために、積極的にジョブローテーションが行なわれる。これによって、次工程のことを考えられるようになるのだ。提案書を書くことも奨励しており、「社長直行便」に書いて送ると必ず500円がもらえる制度もある。さらには、異なる部署から4人ずつ集まり、疑似家族として活動する「プチコミファミリー」もユニークだ。組織横断的に人間関係を築くもので、食事なら1人3,000円など補助金も出る。海外への社員旅行もプチコミファミリー単位。メンバーは毎年、シャッフルする。松浦氏は「会社とは、お金という物差しを持ちながら、会社の中にある

社会(パブリック)貢献の考え方を、1ミリでも伸ばそうとする活動のことを言う」と語る。周辺地域の清掃活動だけでなく、本業でも地元の商工会などと企画開発を行ない、地域貢献ブランドの化粧品をつくり、地域活性化の一端を担っている。また、社長自身が三重県の経営品質協議会の広報を担当するなど、地域産業への取り組み、貢献も積極的に行なっている。

### 講演者 紹介



万協製薬株式会社  
代表取締役社長

松浦 信男氏

1982年万協製薬株式会社に入社。84年に徳島文理大学薬学部に入社、88年、卒業と同時に復職。95年東洋漢方製薬株式会社代表取締役社長就任。96年万協製薬代表取締役社長就任。12年三重大学医学部大学院博士課程卒業。万協製薬は、第6回「男女がいきいきと働いている企業」において選考委員会奨励賞、第7回において知事表彰のほか、08年三重県経営品質知事賞、09年日本経営品質賞を受賞。さらに、11年には第9回日本環境経営大賞環境経営優秀賞、地域思いビジネス共感大賞・奨励賞を受賞している。

### 会社概要

- ・法人名: 万協製薬株式会社
- ・代表者: 松浦 信男 代表取締役社長
- ・所在地: 三重県多気郡多気町五桂1169-142
- ・設立年月: 1960年3月設立

- ・事業内容: 外用薬(クリーム剤、軟膏剤、液剤) 専門の受託メーカー
- ・社員数: 正規67名、パート・アルバイトなど19名
- ・ホームページ: <http://www.bankyo.com/>